

## 議 事 録

- 1 会議の名称 平成 27 年度第 1 回水戸市都市交通戦略会議交通体系部会
- 2 開催日時 平成 27 年 9 月 30 日（水） 午後 1 時 00 分から午後 2 時 35 分まで
- 3 開催場所 水戸市役所本庁舎前プレハブ会議室
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員 茨城大学工学部都市システム工学科 金 利昭  
(名簿順) 茨城交通（株） 火口内 宏一  
関東鉄道（株） 本多 佳夫  
関鉄グリーンバス（株） 長谷川 貞仁  
ジェイアールバス関東（株）水戸支店 佐藤 亮  
水戸市住みよいまちづくり推進協議会 大関 茂  
公募市民 米倉 彩乃  
公募市民 根本 貴彬  
公募市民 野原 香里  
国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所 成家 昭宏（代理）  
国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 飯田 孝志  
茨城県土木部水戸土木事務所 原部 修一  
茨城県土木部都市局都市計画課 田中 郷三  
茨城県警察本部水戸警察署 鈴木 優  
水戸市市長公室 長谷川 昌人  
水戸市建設部 大森 幹司  
水戸市都市計画部 黒澤 純一郎  
水戸商工会議所 深谷 邦夫  

※代理出席 1 名, 欠席 2 名
  - (2) 委託事業者 【一般財団法人計量計画研究所】  
主任研究員 秋元 伸裕, 研究員 高砂子 浩司,  
研究員 稲原 宏, 研究員 蛭子 哲
  - (3) 事務局 【水戸市市長公室交通政策課】  
課長 須藤 文彦, 課長補佐兼係長 大嶋 実,  
主幹 村石 俊弘, 主幹 小林 健典
- 5 会議次第
  - (1) 開 会
  - (2) 議 題
    - ア 現状分析と課題の整理について

イ 施策体系及び重点施策の事業概要について

ウ 意見交換

(3) その他

ア 「水戸駅～大工町」共通回数券活用 100 円バス事業について

(4) 閉 会

## 6 配布資料

(1) 平成 27 年度第 1 回水戸市都市交通戦略会議交通体系部会資料

(2) 現状分析と課題の整理について

## 7 内 容

	<p>※水戸市都市交通戦略会議規約第 9 条第 4 項に基づき、部会長が進行を務めた。</p>
部会長	<p><b>1 開 会</b></p> <p>【部会長あいさつ】</p> <p>専門部会は、全体会議の下部組織であり、具体的な作業、意見交換の場であるため、皆様の積極的な発言をお願いします。</p> <p>また、全体会議の内容を把握するとともに、専門部会の内容を伝えるなど、全体会議の委員との連携を密にさせていただきますようお願いします。</p>
部会長	<p>はじめに、本日の出席者数について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>本日は、委員定数 20 名中 18 名の出席又は代理出席をいただいています。</p>
部会長	<p>事務局報告のとおり、出席者数が過半数となっているため、水戸市都市交通戦略会議規約第 7 条第 2 項の規定を満たし、本会議は成立しています。</p> <p>また、本日の議事録については、水戸市ホームページ上での公開の前に、各部会委員様宛に送付の上、ご確認いただきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p>
部会長	<p><b>2 議 題</b></p> <p><b>(1) 現状分析と課題の整理について</b></p> <p>[別添資料に基づき、一般財団法人 計量計画研究所から説明]</p> <p>本件についての議論は、次の「施策体系及び重点施策の事業概要について」の説明の後に行うこととしまして、ここでは、今の説明について確認したいことがあれば、発言をお願いします。</p>

委員	<p>サンプル数等，過去に実施したアンケート調査の概要を教えてください。</p>
事務局	<p>アンケート調査は，平成 22 年 10 月 1 日から 11 月 15 日にかけて郵送方式にて実施いたしました。対象者は水戸市全体，約 112,000 世帯で，住民基本台帳から無作為に抽出した 5,000 世帯に配布いたしました。回収率は，標本数 5,000 世帯に対して，回収総数が 2,092 世帯ですので，41.8%となっております。その結果をまとめたものが「バス交通実態調査報告書」でして，昨年度委員の皆様配布しております。</p>
委員	<p>水戸市民の公共交通に対するニーズの調査は，その調査で十分なのですか。不十分であると感じますが，いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>さきほどの計量計画研究所からの説明にもありましたが，これからバス利用者を対象としたヒアリング調査を実施する予定であり，その調査により補完してまいりたいと考えております。</p>
部会長	<p>今回の作業では，過去に実施したアンケート調査結果をより詳細に分析するとともに，当該調査はバス利用者のデータが少ない状況であるため，別途ヒアリング調査を実施し，限られた時間と費用の中で，できる限り補完をしていくということです。</p> <p>他にないようですので，施策体系及び重点施策の事業概要について，事務局から説明をお願いします。</p> <p><b>(2) 施策体系及び重点施策の事業概要について</b>  [別紙資料 2～5 ページに基づき，事務局から説明]</p> <p><b>【意見・質疑等】</b></p>
部会長	<p>それでは，施策の体系と重点施策の事業概要について，ご意見等をいただいてまいりたいと思います。</p> <p>まず，施策の体系については，事務局から説明がありましたように整理したものとなっておりますが，ご意見等がありますでしょうか。</p> <p>特にないようですので，次に重点施策の事業概要について，ご意見等をいただいてまいりたいと思います。特に，重点施策として挙げられている施策以外で，8 年間の計画期間内に実施すべき施策がありましたら，ご提案いただきたいと思いますので，よろしく申し上げます。ご意見等はいかがでしょう。</p>

委員	今後の進め方について教えてください。
事務局	8月末に開催した第1回全体会議でも説明しておりますが、本日第1回専門部会を開催しており、10月下旬から11月上旬にかけて第2回専門部会を開催する予定でおります。本日は、施策体系や重点施策についてご意見をいただきまして、第2回専門部会までに計画の案を用意したいと考えております。第2回専門部会では、その計画の案についてご意見をいただき、それを踏まえて整理した計画案を第2回全体会議に諮っていくという段取りで作業を進めております。
委員	計量計画研究所との関わりはどのようになっているのでしょうか。計量計画研究所は事務局側と理解していいのでしょうか。
事務局	計量計画研究所には、水戸市都市交通戦略会議が発注した公共交通基本計画策定業務を受託していただいております、事務局と一緒に作業を進めているところです。事務局側と理解していただいております。
委員	重点施策の「新たな移動手段の導入」について、事業内容に「鉄道、路線バス等の公共交通」とありますが、鉄道と路線バスに限ったものではないという理解でよろしいでしょうか。利用促進部会の方で、タクシーに関する提案をしたいと考えているため、確認をさせていただきます。
事務局	「鉄道、路線バス等の公共交通との連携を基本とする」としておりますので、タクシーやデマンド型の交通等、多様な手段が考えられます。
委員	「現状分析と課題の整理について」の資料に施策候補として示されている施策と、重点施策に位置付けられている施策が一致していないものがありますが、最終的には整理されるのでしょうか。
事務局	現状分析と課題の整理に係る作業が完了していない中、現時点で見えてきた課題に対応する施策が示されている状況ですので、完全に一致してはおりませんが、今後の作業進捗により一致してくることになります。
部会長	現状分析と課題の整理の結果が、現在抽出している重点施策と一致するかもしれませんが、重点施策ではなかったというものが出てくるかもしれません。 今後、バス交通実態調査を補完する形で、バス利用者へのヒアリング調査やバス事業者へのヒアリング調査を実施する予定でありますが、バス事業者として、ぜひ分析をしてほしいという事項や、現状分析結果と現場レベルでの相違点等、ご意見等はいかがでしょうか。会議時間も限られておりますので、ぜひ積極的なご発言をお願いします。

委員	<p>バス利用者へのヒアリング調査を実施するとの説明がありましたが、公共交通を利用してもらうためには、むしろ今バスを利用していない人へのヒアリング調査の方が大事になってくると考えますが、いかがでしょうか。</p>
部会長	<p>すでにバスを利用している人の顕在化した需要と、今バスを利用していない人の潜在化した需要というとらえ方があり、そこをどのように把握するか、何か工夫はありますか。</p>
計量計画研究所	<p>我々の考えとしましては、まず、今バスを利用している人に今後も引き続き利用してもらうためのヒアリング調査を企画しております。それから、バス交通実態調査では、バスを利用している人のデータが少ないという状況ですが、これはバスを利用していない人が大部分ということですので、サンプル数としては約2,500あります。その人に対して、バスの不満点や路線バスが廃止となった場合の対応等を聞いており、集計はできる状況なので、地域別や年齢別に分析するなどして、バスを利用していない人がどういう意見を持っているか見ていきたいと考えております。また、その人たちが普段どのような移動をしているか、アンケート調査結果から分かる範囲で分析し、意見と関連付けながら見ていきたいと考えております。</p> <p>もう少し広い範囲で意見を集められればより良いのですが、限られた時間の中でできることをまずはやって、場合によっては計画策定後にフォローアップや計画の見直しをしていく中で、来年度以降にモニタリングという形で市民の方にアンケート調査を実施するという事も考えられるのではないかと思います。</p>
部会長	<p>我々としては、より良い作業をしてほしいと思っているので、協力できることがあれば言っていただきたいですし、バス事業者をはじめ、委員の皆様からも、このようなことをやってほしいというのがあれば言っていただきたいと思います。</p>
計量計画研究所	<p>重点施策にはバス路線の再編が位置付けられております。詳細にバス路線の再編を検討するとなると、系統ごとの利用状況等が必要になってきますが、データが限られているということもありますので、推測により再編案を作成する部分もあるかと思えます。それに対するバス事業者の意見は確認させていただきたいですし、利用者とバス事業者の両方にメリットがある再編案にしていきたいので、再編の進め方も含めて、意見交換をさせていただきたいと考えております。</p>
部会長	<p>今年度は、まず、水戸市の公共交通の全体像を検討し、細かい議論は次の段階で実施していくという考えでおります。細かい議論をする際は、データ収集をはじめ、皆様の協力が必要になりますので、よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>細かい議論という話があったので、市民を交えたワークショップの実施を提案い</p>

	<p>たします。新たな市民会館についてワークショップを実施しているのですが、我々では気が付かないような意見がいろいろ出ますので、細かな議論になった際に大変参考になると思います。</p>
部会長	<p>その辺は踏まえた上で進めるような形になりますよね。</p>
事務局	<p>今のご意見は計画策定に反映していきたいと思います。</p>
委員	<p>新たな市民会館のワークショップに参加しているのですが、市民の方からいろいろな意見が出ます。ワークショップを実施することで、より多くの市民の方から意見を聞くことができると思います。</p>
部会長	<p>バス事業者から何か意見はありますか。</p>
委員	<p>資料の「1. 既存バスの利用者ニーズからみた課題」について、運行本数が少ない、定時制が確保されない、路線が複雑である等の意見がありますが、すべてを満足させることは難しいと思いますので、どの辺で折り合いを付けるのか、利用者と同じ目線で考えていきたいと思います。また、アンケート調査が市民を対象となっておりますが、通勤・通学、観光等で水戸市に来る人もたくさんいますので、その人たちの意見も反映して、課題の解決を図っていく必要があると思います。</p>
部会長	<p>水戸市外の取扱いはどのようになっていますか。</p>
計量計画研究所	<p>通勤・通学のデータは国勢調査で分かりますし、自動車交通に関しては道路交通センサスで分かりますので、移動の実態についてはこれらのデータで補足する形になります。直接のご意見については、これから実施するバス利用者へのヒアリング調査で市外の方の意見も少しは把握できると考えておりますが、バス利用者に限られてしまいます。それ以外の方については、もし観光の部署でアンケート調査のようなものを実施していればそれも参考になりますので、既存の調査で参考になるものがあれば検討材料になると考えております。参考になるデータがあれば教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>水戸市では観光に関しては実態調査を行っておりますので、検討材料に加えることは可能ですが、市外からの通勤・通学の詳細な実態はとらえられていないので、その部分の把握は難しいと思います。</p>
部会長	<p>県では広域的な観点からいかがでしょうか。</p>
委員	<p>市外の方が水戸市に来る際、公共交通と自動車を比較すると、公共交通は運賃が</p>

	<p>高いので、自動車を持っている人は自動車を選択してしまうと思います。確実に公共交通を利用するのは自動車を持っていない人、例えば学生ですね。水戸市内には学校がたくさんあるので、学生の利用を確保することが重要と感じます。それから市内に高齢者がどのように分布していて、どこに行きたいと思っているのか、そういったデータがあると良いのかなと感じます。</p>
部会長	<p>広域的な部分については県でもいろいろとデータがあると思いますので、調べていただいて、何かありましたら、その情報をご提供いただきたいと思います。</p>
委員	<p>料金と時間をかけ合せたもの、どこからどこまで移動するといくらかかるのかが分かるような指標があると見えてくるものがあるのかなと思います。</p>
計量計画研究所	<p>運賃施策については、例えば中心市街地の商業施設にバスで来ると何かメリットがある等、考えられる施策がいくつかあると思うので、その中から水戸市でできるものはどれか議論しながら、できるものからやっていくという方法もあると思います。</p>
部会長	<p>資料の「5. 現状の交通課題分析全体像」に記載のある「アクセシビリティ分析」がその指標に当たるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
計量計画研究所	<p>資料でお示ししているアクセシビリティ分析は、所要時間中心になっているので、そこに運賃情報を加えて、全部金額換算してやるという方法もあるのですが、それをやると分かりにくくなってしまうので、例えば、運賃と所要時間を、公共交通と自動車と比較して、そのギャップが大きい地域を示す等の整理の仕方は考えられます。</p> <p>アクセシビリティ分析は、必ずしも全域を網羅する必要はないと考えておまして、問題がありそうなところをピックアップして提示するということもあるかと思っています。</p>
部会長	<p>これから分析やヒアリング等の作業を行っていきますので、他に何かご意見、ご要望等ありましたら、事務局までお伝えいただければと思います。</p> <p>続きまして、「水戸駅～大工町」共通回数券活用 100 円バス事業につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>「水戸駅～大工町」共通回数券活用 100 円バス事業について</b>  [別紙資料 6 ページに基づき、事務局から説明]</p>
部会長	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見等はありますでしょうか。</p>

委員	100円バス事業については、商工会議所の方で市長に対して継続要望をしております。
部会長	他にありませんでしょうか。 ないようですので、以上をもちまして、本日の交通体系部会を閉会いたします。次回の開催は、10月下旬を予定しております。専門部会は、意見交換の場であるため、引き続き皆様の積極的なご協力をお願いします。皆様お疲れ様でした。